

地域で桜の苗木を植樹



森づくり活動支援事業

11月3日、旧角館スキー場跡地で「平成27年度市民グループ森づくり活動支援事業」として、桜の苗木の植樹が行われました。
この事業は花葉館・植栽グループが主催し、ふるさととのシンボリックな森林の再生を目的に、公益社団法人秋田県緑化推進委員会の支援を受けて、毎年行っているものです。

当日は心配していた雨も上がり、この事業に協賛する秋田銀行



参加者は協力し合いながら、桜の苗木を植えていました。

角館支店のご家族連れや地域住民の方々約40人が参加しました。
参加者は説明を聞いた後、用意されたソメイヨシノ10本とヤマザクラ20本などの苗木を丁寧に心を込めて植樹しました。

東京かくのだて会総会

節目の総会を祝う

11月1日、中野サンプラザ（東京都中野区）を会場に、「第30回東京かくのだて会総会」が開催され、会員約70人が出席しました。
総会に引き続き行われた懇親会では、会員が互いの近況や懐かしい思い出話に花を咲かせ、飾山囃子などの余興が行われました。出席者の中には、飛び入りで自慢の民謡を披露する方もいて、会場は大いに盛り上がりました。
また、仙北市のお菓子や漬物



次々と楽しい余興も行われ、懇親会は大いに盛り上がりました。

などの特産品も販売され、ふるさとの味を懐かしむ声が聞かれるなど、大変好評でした。

健康と温泉フォーラム2015

温泉療養、医療費控除に向けた活動を

温泉を活用した医療や地域づくりをテーマとする「健康と温泉フォーラム2015」が、11月5日に角館榊細工伝承館で開催されました。

このフォーラムは、全国の医師たちでつくるNPO法人「健康と



温泉療養の医療費控除などについて、全国の首長たちがパネル討論で意見交換しました。

温泉フォーラム」（東京都）と仙北市などでつくる実行委員会の主催によるもので、全国各地のラジウム・ラドン温泉の活用や温泉地の活性化、地域連携のネットワークづくりをテーマに2012年から各地で開催されています。今回、秋田県では初めての開催となりました。

フォーラムには、仙北市のほか北海道豊富町、新潟県阿賀野市、山梨県北杜市、鳥取県倉吉市、大分県竹田市、熊本県菊池市の関係者をはじめ、仙北市民など約150人が出席しました。

温泉地がある全国各地の首長がパネル討論などを通じて、温泉療養の医療費控除に向けて積極的に活動することを確認したり、温泉を活用したまちづくりについて議論したりしました。

また、小山田記念温泉病院（三重県）内科部長で、温泉療養専門医の出口晃医師が認知症と生活習慣病、温泉をテーマに基調講演を行い、今後の温泉療養の可能性を語るよい機会となりました。

台湾高校生がデザイン実習



榊細工のデザインに興味津々

台北市商業デザイン関連高校の生徒20人が、10月26日から30日にかけて仙北市を訪れ、市内宿泊施設や農家民宿に滞在し、榊細工のデザイン等を学びました。

訪れた生徒は、広告デザイン科の2年生で、将来はデザイン関係の仕事希望する方々などです。

一行は、10月28日に角館町の「香月」を訪れ、富岡浩樹代表取締役社長から、榊細工のデザインに関する講義や仕事に対する思いなど



台湾の生徒たちは、店頭で陳列された榊細工商品のデザインに興味深く見っていました。

を聞きました。生徒たちは熱心にメモを取りながら、伝統工芸のデザインに関心を高めていました。

お祝いの



おめでとうございます

11月17日に白寿を迎えられた田口昌さんに、仙北市からお祝いと花束が贈呈されました。



白寿を迎えられた田口昌さん(前列右から2番目)。家族でお祝いました。

秋田県交通指導隊大会



交通事故防止に尽力

10月23日、秋田市文化会館で、「第42回秋田県交通指導隊大会」が行われました。

表彰式では、仙北市の交通指導隊員の佐藤義直隊長、黒坂和夫班長、藤原良隆隊長が永年勤続（40年以上）の優良隊員として、秋田県交通指導隊連合会長表彰を受けました。

今回表彰された3人は、昭和50年に旧角館町の交通指導隊に入隊。これまで地域の交通秩序の保



11月4日、角館庁舎に受賞報告に訪れた隊員の皆さん。

持と交通事故防止に献身的に努められた功績が認められ、このたびの受賞となりました。

きびきびと駆け付け訓練



迅速な対応を心がけ

11月1日から7日まで「秋の火災予防運動」が実施されました。初日には、仙北市管内3か所で開催された訓練が行われました。

この訓練は、火災の発生時に、消防団員が迅速に災害現場へ駆け付けることができるよう、毎年行っているものです。

これからの季節、気温が低くなるにつれて空気が乾燥してきます。火災が非常に発生しやすい時期となりますので、くれぐれも火



市内3か所で行われた駆け付け訓練。(写真は西木町の松木内河川公園で行われた訓練)

の取り扱いには十分気をつけましょう。



「水はかけがえのないもの」。各施設の役割について、たくさん学びました。



発電機の仕組みについて、児童たちは興味津々の様子でした。

水土里ネット西木（西木土地改良区 伊藤長三理事長）が主催する「第9回施設見学会」が10月21日に行われ、西明寺小学校4年生17人が宮田頭首工等の施設を見学しました。

児童たちは、生活に欠かせない大切な水を手に使ったため各施設がどのような働きをしているのか、何気なく捨てたゴミが川を汚してしまうことなど、担当者の説明を熱心に聞いていました。

水の大切さを学習しよう

水土里ネット西木（西木土地改良区）施設見学会

児童たちが書いた見学会の感想文の中から一つを紹介します。

初めて行った頭首工と浄水場

佐々木愛蕾

わたしたちは、社会の勉強で宮田頭首工、小山寺頭首工、八津浄水場の三ヶ所を見学しに行きました。初めて行ったことがたくさんありました。

宮田頭首工では、水が田んぼや畑、家庭にはこぼれています。小山寺頭首工は、他の頭首工とちがって、ゲートがゴムになって

います。小山寺頭首工の川もきれいな水なので、小さな魚やヤマメ、たまにはカジカもいます。八津浄水場では、水が五百七十五メートルあります。八津浄水場の水は二時間でプールと同じ量の水をためられます。八津浄水場できれいにした水は千二百人以上の人が使っています。

わたしはあまり水にはきょうみがありませんでしたが、宮田頭首工、小山寺頭首工、八津浄水場のみなさんからお話を聞き、水にきょうみをもつことができました。

（原文のとおり）

角館高校野球部地域サポーター事務局から

今年9月中旬に角型ティーバッティング用ダブルネット5台とトス練習用防弾ダブルネット2台を角館高校野球部へ寄贈させていただきました。

以前寄贈したバッティングマシン「トップガン」同様、大いに活用し来年の活躍に繋げて頂きたいと思っております。

ご支援を賜りましたサポーター各位に心より感謝申し上げます。

今後とも野球部へのサポートと市民の皆さまの温かいご声援を賜りますようお願い申し上げます。

角館高校野球部地域サポーター事務局 代表 菅原 一正



各種大会や練習試合等におきまして、地域の方々からたくさんのご声援・ご支援をいただきました。

角館高校野球部一同、心より感謝を申し上げます。

さて、角館高校野球部は秋季全県大会の敗退後、部員47人（2年生24人・1年生23人）が目標を新たに一丸となって練習に励んでいます。精神的にも肉体的にもまだまだ未熟な選手たちですが、おごることなく地道に努力していけば、大きな可能性を秘めたチームになると感じています。選手個々がもっているポテンシャルは、間違いなく全国で通用するレベルにあると思います。

来年は101年目となる高校野球史2世紀に突入しますが、初心を忘れず、高校生らしく「元気」に「全力疾走」し、「正々堂々」と戦う「角高野球」をお見せしたいと思っております。

これからも角館高校野球部をよろしく願います。

角館高校野球部 監督 湯澤 淳



地域サポーター募集のお知らせ
問い合わせ先：090-2987-6138（副代表 藤原 悟）
フェイスブック：<https://www.facebook.com/groups/28806107830430>

第11回仙北市卓球大会

個人、団体で熱戦を展開

11月8日、角館高校第一体育館で「第11回仙北市卓球大会」が行われ、約100人が参加し、熱戦を展開しました。大会の結果は次のとおりです。

各種目1位（敬称略）
団体戦▽ジェネシス
個人戦▽一般男子1部 茂木勇哉（AFCIT） 同2部 黒澤一彦（卓摩会） 同3部 藤原良隆（市連盟）▽一般女子1部 吉川美乃里（角館高） 同2部 中嶋りえ



幅広い年齢層が参加し、盛り上がった本大会。激戦を制し、見事メダルを手にした選手たち。

（佐藤家）同3部 藤本順子（市連盟） 小学生の部 田口寛也（てくてく倶楽部）

防犯パトロール車を寄贈



地域の安全に一役

仙北市防犯協会角館支部（吉田慎一支部長）に、株式会社川村自動車工業（川村和男代表取締役）より、青色回転灯付防犯パトロール車が寄贈され、11月2日に贈呈式が仙北警察署で行われました。

川村代表取締役は「子どもをはじめとする地域の安全・安心のため、また地域で地道に防犯活動に取り組まれている方々の一助になればと思いきり寄贈させていただきました」と話しました。吉田支部長



贈呈式での集合写真（上）と寄贈された青色回転灯付防犯パトロール車（下）。

は「支部初の専用パトロール車で、活動がしやすくなる。地域の安全・安心のために積極的に使わせていただく」とお礼を述べました。

「あなたもやさしいまちづくりの一員になりませんか。」 認知症サポーター養成講座を開催

今年度6回目、7回目の認知症サポーター養成講座が開催されました。11月9日、仙北市内消防署の職員15人が認知症の症状、認知症の方への声掛けや対応について熱心に話を聞きました。日頃、密接に地域と関わって仕事をされているところからの質問や意見も出され、大変有意義な時間となりました。

また、同日、桜美町内会の方々22人に集まっていたとき、キャラバンメイトの話が聞きました。サポーターとなられた方々には、全国共通のオレンジリングを配布しました。

また、消防署、商店、理美容院等には「認知症サポーターがいます」のシールが貼られています。

65歳以上高齢者の7人に1人は認知症といわれています。誰でも起こり得る認知症と言う病気や対応の仕方を知り、地域の温かい見守りや適切な支援で住み慣れた地域で暮らしていくことができます。

ぜひ、皆さんの身近なところでも認知症サポーター養成講座を開催し



認知症サポーターは、地域で認知症の方や家族を支える応援者です。



身近なところで養成講座を開催してみませんか？お気軽にご相談ください。

てみませんか。

人数や場所などは、仙北市包括支援センターまでご相談ください。

☎（43）2283

◇今年度11月9日現在

認知症サポーター数127人

◇平成20年度からの累計1974人